

# 11月の野菜の見通し

令和2年10月31日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,886	平年並 み	12,094	97	82%	88	15	0.1%	千葉県、神奈川県産の生育は順調。出荷も若干早いため、北海道産の切り上げりに伴う不足感はない。全体量は少なかった前年を上回り平年並み。気温低下で需要はあるが、数量が充分なことから単価は平年よりやや安い。
はくさい	15,639	多い	14,266	67	82%	74	7	0.0%	茨城県産は作付けが増加し、作柄も良好。10月下旬から増え始め、11月上中旬にピークを迎える。長野県産の残量もあることから、相場は軟調で推移。気温低下で鍋需要はあるものの、数量は平年以上で潤沢なことから単価は平年比2割以上安い。
キャベツ	15,307	やや多 い→平 年並み	14,425	79	101%	105	0	0.0%	茨城県産は作付けが微減だが、生育は順調。千葉県、愛知県産も作柄良好。群馬県産は10月で出荷のめどがつき、11月は残量を出荷。全体量は平年並みから微増。単価は前年並みだが平年比2割安い。
ほうれんそ う	1,072	平年並 み	1,380	723	72%	584	4	0.3%	群馬県、茨城県産は台風被害もなく生育は順調。気温も低いため、まずまずの需要がある予想。全体量は少なかった前年を上回り平年並み。単価は平年並み。
ねぎ	5,256	平年並 み	5,257	321	100%	318	399	7.6%	各産地とも夏期の長雨から高温・干ばつの影響で生育遅延もあったが、その後は順調に推移。全体量は平年並みの見込み。関東産の増量により、中旬は相場の下げの気配。単価は平年並み。
きゅうり	4,884	平年並 み	4,694	388	103%	390	31	0.6%	関東産は夏期の高温の影響や日照不足により、上旬までは数量が少ない。宮崎県産は作柄良好。全体量は平年並みから微減。単価は平年並み。

# 11月の野菜の見通し

令和2年10月31日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
トマト	4,115	平年並 み	5,038	538	84%	471	15	0.4%	熊本県産の作付けはやや減。千葉県産は台風被害で少なかった前年と比較すれば数量増加。日照不足で出方が鈍いが、天候が良くなれば徐々に増える。全体量は前年以上で平年並み。単価は平年並み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)